

# 百年笑顔 下塚田地区

## 19年目を迎える「鯉のぼり掲揚」

— 田植え後の水面に映る1,000匹の舞い、地域の願いを乗せて —

春の訪れを告げる風が吹き始める4月、日南市下塚田地区では、約1,000匹の鯉のぼりが空を彩る。下塚田自治公民館前に広がる約5ヘクタールの水田上空に張られたワイヤーに、色とりどりの鯉のぼりが泳ぐ光景は、地域の春の風物詩として親しまれてきた。2008年に始まったこの取り組みは、2026年で19年目を迎える。

## 取り組みの背景

下塚田地区の鯉のぼり掲揚は、地域の子どもたちの健やかな成長を願う思いから始まった。少子化が進み、家庭で鯉のぼりを掲げる姿が少なくなる中、「地域全体で子どもたちを祝う場をつくりたい」という住民の声がきっかけだった。開始当初は数百匹だった鯉のぼりも、地域住民や企業、学校、個人からの寄贈が積み重なり、現在では約1,000匹規模にまで成長した。近年は寄贈数が減少傾向にあるものの、地域内外の協力により、毎年同規模の掲揚を維持している。2026年は宮崎市内の虻原美佐子氏からの寄贈や、日南市目井津保育園からの寄贈も寄せられた。

## 2026年の掲揚予定

掲揚は天候や河川状況を見ながら行われるため固定日ではないが、2026年は以下の日程を予定している。

- ・ **掲揚準備**：4月5日（日）午前8時～
- ・ 天候が良ければ夕刻には掲揚完了
- ・ **降納予定**：5月20日以降の土日（24日または25日）
- ・ 最新情報は「下塚田ふるさと応援隊」WebサイトおよびInstagramで発信

掲揚場所は、下塚田自治公民館（日南市大字塚田乙716番地）前の水田上空。カーナビで「下塚田公民館」と入力すると案内される。宮崎市内からは南九州自動車道を利用して約40分とアクセスも良い。

## 写真映えする“下塚田の春”

鯉のぼりが泳ぐ背景には、早期水稲の田植えを終えたばかりの水田が広がる。晴れた日には青空と水面に映る鯉のぼりが鮮やかなコントラストを描き、夕暮れ時には橙色の空を背景にたなびく姿が幻想的な表情を見せる。

さらに、地域の子どもたちが参加する掲揚体験も見どころのひとつだ。

- ・ 大堂津小学校・細田小学校の児童による手作り鯉のぼり掲揚
- ・ 日南幼稚園、油津恵愛幼稚園の園児による掲揚体験（世代間交流）

地域の未来を担う子どもたちが、地域の大人たちと一緒に鯉のぼりを掲げる姿は、訪れる人々の心を温かくする。

## 地域の声

主催する「ゆめ豊か下塚田」会長の作本隆一氏は、次のように語る。

「この鯉のぼりは、地域の願いそのものです。子どもたちの成長を祝うだけでなく、地域の人がつながり、外から来てくださる方々との交流が生まれる。下塚田が笑顔でいられる100年先を見据えた取り組みとして続けています。」

協催の「下塚田ふるさと応援隊」会長・作本眞悟氏も、地域の広がり期待を寄せる。

「寄贈してくださる方々の思いが、この空を彩っています。地域の宝として、これからも大切に育てていきたい。」

## 写真・動画の利用について

- Webサイト等に掲載している写真は、報道目的で自由に利用可能
- 動画は発信元への確認をお願いしたい

## 問い合わせ

- 団体名：ゆめ豊か下塚田
- 会長：作本隆一
- 連絡方法：
- 「下塚田ふるさと応援隊」Webサイト（<https://yumeyutaka.com/>）内の「お問い合わせ」フォームより